国立台湾師範大学　月例報告書

2026.09



寮からの眺め。台北 101 が見えます。

はじめに

　みなさん、こんにちは。2026 年 9 月から 2027 年 6 月まで、国立台湾師範大学へ留学しています。台湾に来てまだ 1 か月ほどですが、毎日新しいことの連続で、慣れないながらも楽しく過ごしています。この報告書では、私が実際に経験した留学準備や台湾での生活について紹介します。これから留学を予定している方にとって、少しでも参考になれば嬉しいです。今回は、ビザ申請や大学の寮について、そして台湾で 1 か月生活してみて感じたことをお話しします。

1．大変だったビザ申請

留学準備の中でも、特に大変だったのがビザ申請です。住民票が静岡県・神奈川県以外にある場合は、特に注意が必要です。私の場合、住民票が九州にあったため、福岡にある台湾の在外公館で申請しました。しかし、大学の在学証明書や健康診断書は静岡県で発行されたものだったため、横浜の在外公館の確認印が必要だと後から分かり、一度書類を横浜へ郵送し、確認後に福岡へ送り返してもらうことになりました。さらに、健康診断書についても、師範大学から指定されたフォーマットを使用していたにもかかわらず、福岡の在外公館では別のフォーマットが必要だったため、病院に再度修正をお願いすることになりました。福岡のウェブサイトには記載がなかった一方で、横浜のページには記載されている事項もあり、地域によって必要な手続きや書類が異なることに戸惑いました。師範大学から入学許可証が届いてから正式なビザ申請となるため、入学許可証が届く前に準備できる書類は、できるだけ早めに揃えておくことをおすすめします。また、申請する在外公館だけでなく、関連する地域の情報も確認しておくと安心です。

2．とっても快適な寮

私は現在、国立台湾師範大学の 4 人部屋の寮に住んでいます。師大から寮に関する案内が届き、2 人部屋か 4 人部屋かを選択することができました（男子寮は 3 人部屋だったような？）。秋学期の寮費は 17,760 台湾ドルで、日本円にすると 9 万円弱でした。2 人部屋の場合は、4 人部屋の約 2 倍の料金になります。私の部屋は 4 人全員が日本人なので、生活面ではとても快適で安心します。同じ国籍の学生同士で部屋が割り当てられているようです。寮の設備や実際の生活の様子については、YouTube で「師範 宿舎」と検索すると、寮生活を紹介している動画がたくさん出てくるのでおすすめです。



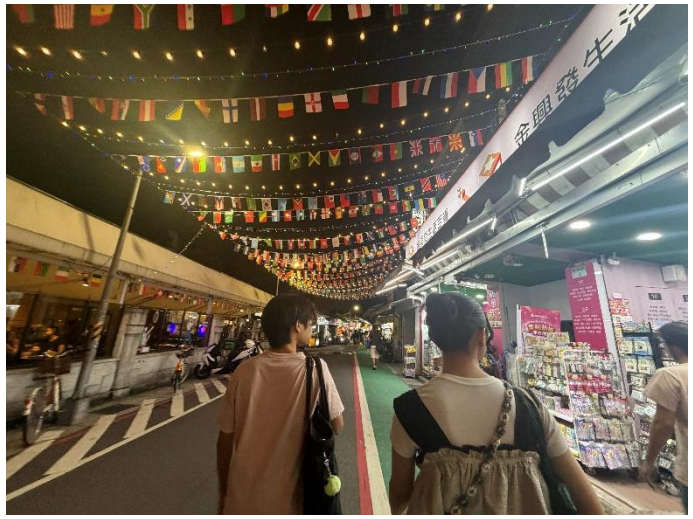
3．一瞬で過ぎ去った９月

９月はあっという間に終わってしまいました。初めての授業はやっぱりどきどきしましたし、履修する授業が決まるまでにも思った以上に時間がかかりました。授業自体は意外とゆったりしたスケジュールなのですが、予習や復習が大変です。それに加えて、台湾で普通に生活しているだけでもまだまだ緊張していて、毎日頭をフル回転させているような状態なので、思っていた以上に疲れる１か月でした。そんな中でも、休みの日にはありがたいことに台湾人の言語交換パートナーがいろいろなところに連れ出してくれるので、「暇なのに忙しい」という不思議な１か月でもありました。台湾に来て１週間で日本から友達が遊びに来てくれたり、中秋節の休みには北投に行ったりと、振り返ってみると意外といろいろなことをしています。

授業のことや言語交換パートナーとの交流については、また次の機会に紹介できればと思います。まだ台湾に来て１か月ですが、こうして振り返ってみると、我ながら結構頑張ったと思います。えらい！



北投は温泉街。シャワーが嫌でここに避難。



大学近くの夜市。まよぴまた来てね。